

2022年度 事業計画書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

定款第3条の目的を達成するため、定款第4条に基づき次の事業を行う。なお、下記記載金額は直接経費である。

【1】図書館振興助成事業

(1) 2022年度振興助成の交付を実施する。

2022年度振興助成は2021年度中に公募を行い、添付に示す事業者を決定した。4月以降に交付を行う。総額は53,334,249円。

(2) 2023年度振興助成の公募を実施する。

事業予算7,000万円を助成する。

応募要項を財団ホームページに掲載し、公募する。

以下のテーマについて公募を行う。

①図書館運営に対する助成

②図書館をはじめとする文化・教育資源保有施設が所有するコレクションの活用を推進する事業に対する助成

③「調べる学習」「読書活動」を推進する学校図書館に対する助成

公募期間： 2022年9月～11月

選考時期： 2022年12月～2023年1月

交付時期： 2023年4月以降

1件あたり助成金上限：①②原則1,000万円 ③100万円

・審査料及び交通費等諸経費として13万円の事業費を予定する。

【2】図書館利用促進事業

(1) 第26回「図書館を使った調べる学習コンクール」の実施

①一般財団法人日本児童教育振興財団からの助成金を含め、下記を目標に実施する。

目的 図書館の利用促進と調べる学習の普及

目標 応募作品数 : 120,000作品<2021年度106,566>

地域コンクール開催：150自治体 <2021年度142自治体>

地域コンクール開催の募集期間：2022年4月～2022年5月末

地域コンクールからの推薦作品を全国コンクールで審査する。

地域コンクールを開催していない地域からの応募作品は、図書館振興財団で受け付ける。

全国コンクール作品募集要項

募集する作品：公共図書館や学校図書館を使って調べ、過程や結果をまとめた作品

テーマは自由

「図書館を使った調べる学習」を支援した活動をまとめたレポート

募集部門：調べる学習部門

小学生の部、中学生の部、高校生の部、大人の部（大学生・社会人等）、子どもと大人の部

調べる学習指導・支援部門

募集対象は、調べる学習を指導・支援した個人や団体

※大学等の専門機関における研究成果は対象外とする。

募集期間：2022年9月12日～10月3日必着（予定）

結果発表：2023年1月11日 図書館振興財団ホームページ

表彰式：2023年2月下旬（予定）

賞（申請予定）：（作品表彰）

文部科学大臣賞、観光庁長官賞、「2030 生物多様性枠組実現日本会議」賞、優秀賞、優良賞、奨励賞、佳作

（地域コンクール主催者表彰）

総務大臣賞、「図書館を使った調べる学習」活動賞

後援団体（申請予定）

文部科学省/観光庁/環境省/総務省/2030 生物多様性枠組実現日本会議/東京都教育委員会/一般財団法人日本児童教育振興財団/公益財団法人海外子女教育振興財団/公益社団法人日本図書館協会/公益社団法人読書推進運動協議会/日本児童図書出版協会/読売新聞社/活字文化推進会議/株式会社毎日新聞社/株式会社日本教育新聞社/株式会社教育新聞社/一般社団法人全私学新聞/株式会社教育家庭新聞社/NHK/公益財団法人大宅壮一文庫

協賛団体（申請予定）

大日本印刷株式会社/丸善雄松堂株式会社/株式会社図書館流通センター/株式会社カーリル/株式会社丸善ジュンク堂書店

②2021年度（第25回）の入賞作品のうち、文部科学大臣賞、観光庁長官賞、「2030 生物多様性枠組実現日本会議」賞等の受賞作品の中からレプリカ（複製）を作成する。財団ホームページで全ページ公開する。

③「図書館を使った調べる学習コンクール」を一定地域内で開催する「地域コンクール」を募集し、増やすための推進活動を行う。

④コンクールの主旨と合致する他者の事業を後援する。

⑤調べる学習指導者による講座・研修等

自治体等の要望に応じ、財団の講師が各地の講座・研修等に携わるほか、指導実績のある講師を紹介することにより、調べる学習のさらなる推進を図る。

・助成金・協賛金等を含め計 140 万円の収益を予定する。

・表彰式および審査会の開催、および募集にかかる経費等として 3,285 万円の事業費を予定する。

(2) 選書事業

近刊情報を元に、図書館にふさわしい本を選書することを目的に、下記 5 分野において原則、毎月 1 回選書し、選書結果を財団のホームページで公開する。

また、その年に出版された児童図書の各ジャンルのおすすめ本リストおよびそれらについての紹介文を作成し、当財団ホームページにて無料公開する。

例年、上記の方法で選書事業を実施してきているが、5 分野のうち下記の③④⑤の 3 分野については、図書現物による選書を行っていることから、休止を余儀なくされる社会状況が続いたため、今後の手法を見直す期間として、2022 年度については、選書を休止するものとする。

①新刊選書事業…主に公共図書館にふさわしい本の選書を行う。

②専門書・学術書選書事業…公共図書館等にふさわしい専門書・学術書の選書を行う。

③児童図書選書事業…絵本, フィクション, ノンフィクションの 3 ジャンル毎に選書を行う。

④学校図書館用選書事業…小・中学校の学校図書館むけの選書を行う。

⑤科学読み物選書事業…科学読み物の選書を行う。

・選書員謝金・交通費・資料費等諸経費として 153 万円の事業費を予定する。

(3) 友の会「図書館の学校」の運営

財団の事業への支援を目的に、友の会「図書館の学校」を運営する。

・会費は 1 口 3,000 円とし、会員 1,000 人を目標とする。

・会員管理のための諸経費として 12 万円の事業費を予定する。

【3】図書館活性化事業

(1) 機関誌『図書館の学校』の発行

①図書館振興助成事業および利用促進事業等の周知を目的に、機関誌『図書館の学校』（季刊）を発行する。一刊の発行部数は 1,500 部を予定する。

②友の会「図書館の学校」の会員には無償とし、その他は原則有償（本体1冊1,000円）頒布とする。

- ・会員外販売および広告費等含め計220万円の収益を予定する。
- ・取材・編集および頒布等諸経費として1,313万円の事業費を予定する。

(2) 「第24回図書館総合展2022_ONLINE_plus」への参画

財団の活動、事業全般への理解を広めるとともに社会的関心を高めるためにオンラインブース出展等の広報活動を行う。

- ・出展料等諸経費として151万円の事業費を予定する。

(3) 研修事業

今年度は、社会状況に鑑み、その年の児童図書の出版状況をジャンル別に概観する「子どもの本 この一年を振り返って」のセミナーは休止とする。

(4) 提案型事業

図書館振興に関する提案型事業

デジタルネットワーク社会に対応した新たな図書館サービスの構築を目的とする提案事業について助成する。当事業については個別に助成規準を設定し、募集を行い実施する。

- ・事業継続のための基金として、株式会社図書館流通センターに引き続き寄附を要望する。

(5) 調査研究事業

今年度は、調査研究に値する課題を検討する期間とする。

(6) 文部科学省後援事業「図書館レファレンス大賞」への協賛

司書の本来の業務である“レファレンス”業務の認知度を高めることを目的に、文部科学省が提唱し、後援している「図書館レファレンス大賞」に協賛する。

- ・協賛にかかる諸経費として20万円の事業費を予定する。

【4】不動産の貸付に関する事業

公益目的事業の推進に資するために行う不動産の貸付に関する事業を実施する。

2022年度における地代収益は420万円、費用は固定資産税等48万円を予定する。

【5】共通事業

上記【1】【2】【3】【4】の事業の共通諸経費として、4,892万円の事業費を予定する。

以上